

2023年9月29日
商工中金

中小企業のDXをサポートする東洋電装株式会社様を ポジティブ・インパクト・ファイナンスにてサポート

商工中金は、サステナブルファイナンスなどの取組みを通じ、お客さまのサステナブル経営および持続可能な社会の実現に貢献していきます。

商工中金（広島支店）は、東洋電装株式会社様（本社：広島県広島市、代表者：桑原 弘明様）に対し、サステナブル経営に必要な資金1億円を融資しました。本融資については、ポジティブ・インパクト・ファイナンス（※）を適用しています。

同社は、高速道路の非常電話機器の製造・ネットワーク構築に加え、社会インフラに係る制御盤の設計・組立・検査を手掛けています。2022年2月には、制御盤生産工程をDX化したDX工場を可部事業所内にオープン。地元企業にも一般公開し、視察に訪れる地元中小企業のニーズの掘り起こしを行うなど、中小企業のDX支援にも積極的に取り組んでいます。

今回同社は、中小企業に対するDX支援やGSHIP（※）参画による海洋プラスチックごみゼロ化等の取組みを通じて、一層の成長を図るため、サステナビリティに関するKPI（注）を設定。環境経営を通じて、経営の持続可能性を高め、経済的価値の向上のみならず、社会的価値の向上や働き手の幸せを実現していきます。

（※）2050年までに新たに瀬戸内海に流出すプラスチックごみの量をゼロにすることを目指す連携・協働組織
（注）同社KPI詳細は、商工中金HP掲載の「[ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書](#)」をご覧ください。

商工中金は、現地訪問や経営者との対話を通じた事業性評価を行い、株式会社商工中金経済研究所と連携してインパクト評価を実施。株式会社日本格付研究所（JCR）より第三者意見書を取得し、同社の強みと課題そして目標（KPI）を共有。同社の企業価値向上のために必要な資金をポジティブ・インパクト・ファイナンスにて融資するとともに、目標達成に向けた取組みをサポートし、伴走支援していきます。

【東洋電装株式会社様の概要】

所在地	広島県広島市安佐南区緑井4丁目22-25
代表者	桑原 弘明 様
業種	制御盤システム製作及びシステム開発
資本金	1,015万円
従業員数	76名（2023年7月時点）
設立	1973年12月



【可部事業所(DX工場)】

NEWS RELEASE

SHOKO CHUKIN BANK



(※)「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」について

ポジティブ・インパクト・ファイナンスとは、企業活動が環境・社会・経済に対して与えるインパクト（ポジティブな影響・ネガティブな影響）の包括的な分析・評価、サステナビリティに関する目標設定とモニタリング、及び資金供給を通じ、企業の「社会的価値」「働き手の幸せ」「経済的価値」を総合的かつ持続的に高めていくことを企図した「伴走支援型融資」です。

本融資スキームは、国連環境計画金融イニシアチブ(UNEP FI)が公表したポジティブ・インパクト金融原則に準拠しており、商工中金および商工中金経済研究所がインパクト評価書を作成し、セカンドオピニオンとして(株)日本格付研究所より第三者意見書を取得しています。

